

ワクチンQ&A

Q 次世代mRNAワクチンとはどのような特徴を持ったワクチンですか？

A 新規のmRNA技術を使用したワクチンであり、細胞内に送達されるとmRNAが一定期間複製されるよう設計されています。既承認mRNAワクチンよりも少ない有効成分量で高い中和抗体価を維持するのが特長です。

Q 接種後体内で増え続けますか？

A 体内で増え続けることはありません。動物実験の結果、投与部位のmRNAは投与後1週間程度で著しく低下することが確認されています。

Q ワクチンを接種した人の呼気や汗から伝播（シェディング）することはありますか？

A 16,100人のヒトでの臨床試験を実施していますが、伝播（シェディング）といわれる事象やそれによって有害事象がもたらされたという、報告は確認されていません。加えて、令和6年7月2日の岸田内閣総理大臣の答弁書においても、当該事象（伝播/シェディング）の存在は否定されています。

Q 次世代mRNAワクチンは海外でも承認されていますか？

A 日本では世界に先行して初めてコスタイベ筋注用が承認されました。他国でコスタイベを販売する権利を持っているのはCSL Seqirusですが、すでにヨーロッパで申請し、審査は最終段階まで進んでおります。治験を行ったベトナムやアメリカ、他国でも開発を進めています。

Q 安全性は確認されていますか？

A 厳格に規制された臨床試験において、客観的且つ科学的に高い有効性と安全性が確認されています。

Q 副反応による健康被害が起きた場合は？

A ワクチンの副反応による健康被害が起きた場合の救済制度として、以下のような制度が設けられています。

・予防接種健康被害救済制度：予防接種（定期接種、臨時接種）による健康被害が生じた場合、予防接種法に基づく救済が受けられる制度です。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkouhigaikyusai.html

・医薬品副作用被害救済制度：医薬品を適正に使用したにもかかわらず、その副作用により入院治療が必要になるほど重篤な健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる制度です。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html